



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年3月21日～平成29年6月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,318	0.5	283	25.1	280	20.1	150	28.3
29年3月期第1四半期	4,297	6.3	226	0.7	233	6.6	117	28.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 83百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 33百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.39	
29年3月期第1四半期	8.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	21,172	10,423	49.2	718.78
29年3月期	19,744	10,456	53.0	721.05

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,423百万円 29年3月期 10,456百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		8.00	8.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月21日～平成30年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	3.5	400	41.1	400	41.7	200	51.5	13.79
通期	20,000	2.7	650	33.2	600	38.0	350	43.1	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,595,050 株	29年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,093,825 株	29年3月期	1,093,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,501,225 株	29年3月期1Q	14,501,225 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており、米国の政権運営、新興国経済の減速、アジアにおける地政学的リスクの高まりなど、海外経済の動向に不透明感はあるものの、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では、市場が伸び悩み中、激しい価格競争が続く厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと当社グループは、持続的成長と健全な企業体質への改善に向けて、モノづくりの原点回帰と顧客視点に立った商品開発、サービス品質の向上に取り組むとともに、継続的なコスト低減と生産性の向上により、収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は43億1千8百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は2億8千3百万円（前年同期比25.1%増）、経常利益は2億8千万円（前年同期比20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5千万円（前年同期比28.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (オート機器事業)

主力の門型洗車機は、カーディーラー向けは伸び悩みましたが、SS向け洗車機が前年に続く政府補助金制度の効果により販売台数が伸長しました。また、灯油配送ローリー、温水式スプレー洗車機が好調に推移し、その結果、売上高は前年同期比6.9%増の31億9千6百万円となりました。

## (情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機は前年同期の実績に比べて伸長しましたが、官需関連は当期内売上となる案件が少なく、大型表示機も受注数が少なかったことから、全体として伸び悩みました。その結果、売上高は前年同期比37.9%減の2億8千9百万円となりました。

## (生活機器事業)

市場環境は消費者マインドが好転せず、農家向け商材、一般家庭向け商材ともに厳しい状況が続きました。農家向け商材の低温貯蔵庫は概ね前年並みに推移しましたが、保冷米びつは農機業界の冷え込みの影響を受け、低調に推移しました。また、一般家庭向け商材のレンジ台も市場低迷により苦戦を強いられ、その結果、売上高は前年同期比5.4%減の5億8千4百万円となりました。

## (住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具と反射板式消音装置を製造・販売しております。住宅業界から断熱・省エネが強く叫ばれるようになり、4月からは非住宅建築も省エネ基準の義務化が始まりました。主力商品の「木+断熱仕様のアルタスウッド」がさらに注目を集めることが期待される中、前年度に積み上がった受注残が当第1四半期売上に寄与し、売上高は前年同期比18.7%増の1億9千万円となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いております。その結果、売上高は前年同期比10.6%減の5千7百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億2千8百万円増加し211億7千2百万円となりました。流動資産は9億4千8百万円増の111億4千5百万円、固定資産は4億7千9百万円増の100億2千7百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、たな卸資産が9億6千6百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ14億6千万円増加し107億4千8百万円となりました。流動負債は10億5千9百万円増の76億8千5百万円、固定負債は4億円増の30億6千3百万円となりました。これは主に短期借入金が増加し10億8千万円増加、長期リース債務が4億7千2百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ3千2百万円減少し、104億2千3百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が7千6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年4月28日発表の「平成29年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,836,443	1,808,059
受取手形及び売掛金	3,958,456	4,047,687
商品及び製品	1,572,666	2,055,936
仕掛品	1,122,446	1,291,582
原材料及び貯蔵品	1,362,304	1,676,239
その他	370,846	292,395
貸倒引当金	△27,124	△26,899
流動資産合計	10,196,038	11,145,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,324,204	2,359,533
機械装置及び運搬具(純額)	472,104	460,470
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	237,208	672,483
有形固定資産合計	6,014,682	6,473,651
無形固定資産		
のれん	621,583	594,367
その他	481,935	474,603
無形固定資産合計	1,103,518	1,068,970
投資その他の資産	2,429,856	2,484,500
固定資産合計	9,548,057	10,027,122
資産合計	19,744,096	21,172,124

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	859,275	1,142,154
短期借入金	1,145,000	2,225,000
1年内返済予定の長期借入金	528,546	530,944
未払金	3,008,283	3,053,682
未払法人税等	234,106	63,073
引当金	490,660	272,690
その他	360,140	398,369
流動負債合計	6,626,012	7,685,915
固定負債		
長期借入金	2,109,194	2,020,596
退職給付に係る負債	113,755	114,566
その他	439,095	927,870
固定負債合計	2,662,044	3,063,032
負債合計	9,288,056	10,748,947
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	4,013,596	4,048,273
自己株式	△510,424	△510,424
株主資本合計	9,827,868	9,862,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,101	359,420
繰延ヘッジ損益	23,845	5,792
為替換算調整勘定	117,384	40,524
退職給付に係る調整累計額	148,840	154,894
その他の包括利益累計額合計	628,171	560,631
純資産合計	10,456,040	10,423,176
負債純資産合計	19,744,096	21,172,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)
売上高	4,297,941	4,318,380
売上原価	2,799,756	2,723,608
売上総利益	1,498,184	1,594,772
販売費及び一般管理費	1,271,686	1,311,490
営業利益	226,497	283,282
営業外収益	35,136	26,835
営業外費用		
支払利息	12,638	15,533
為替差損	10,298	—
その他	5,253	14,286
営業外費用合計	28,190	29,820
経常利益	233,444	280,297
特別利益		
固定資産売却益	—	55
特別利益合計	—	55
特別損失		
固定資産除売却損	630	19
特別損失合計	630	19
税金等調整前四半期純利益	232,814	280,333
法人税、住民税及び事業税	46,254	45,644
法人税等調整額	69,118	84,002
法人税等合計	115,372	129,646
四半期純利益	117,441	150,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,441	150,686

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)
四半期純利益	117,441	150,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,493	21,318
繰延ヘッジ損益	△7,438	△18,052
為替換算調整勘定	△109,616	△76,860
退職給付に係る調整額	8,330	6,053
その他の包括利益合計	△151,217	△67,540
四半期包括利益	△33,776	83,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,776	83,146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至 平成28年6月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,989,318	465,868	618,372	160,433	63,947	4,297,941	—	4,297,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	362	13,610	103,092	—	32,543	149,610	△149,610	—
計	2,989,681	479,479	721,465	160,433	96,490	4,447,551	△149,610	4,297,941
セグメント利益又は 損失(△)	502,564	14,433	1,427	△65,913	24,570	477,082	△250,584	226,497

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,584千円には、セグメント間取引消去4,082千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△254,666千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,196,714	289,077	584,925	190,491	57,171	4,318,380	—	4,318,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	17,122	129,592	5	33,486	180,325	△180,325	—
計	3,196,832	306,200	714,518	190,496	90,658	4,498,706	△180,325	4,318,380
セグメント利益又は 損失(△)	559,006	△9,232	23,848	△49,605	24,658	548,676	△265,393	283,282

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265,393千円には、セグメント間取引消去4,207千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△269,600千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。